

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 1 区分
 【発行日】平成 21 年 2 月 5 日 (2009.2.5)

【公表番号】特表 2004-520574 (P2004-520574A)
 【公表日】平成 16 年 7 月 8 日 (2004.7.8)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-026
 【出願番号】特願 2002-548181 (P2002-548181)
 【国際特許分類】

G 0 1 N 33/543 (2006.01)

C 1 2 Q 1/68 (2006.01)

G 0 1 N 33/53 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 33/543 5 4 1 Z

G 0 1 N 33/543 5 2 5 E

C 1 2 Q 1/68 A

G 0 1 N 33/53 U

C 1 2 N 15/00 Z N A A

【誤訳訂正書】
 【提出日】平成 20 年 12 月 11 日 (2008.12.11)
 【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲
 【訂正対象項目名】全文
 【訂正方法】変更
 【訂正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

試料中のリガンドを検出する方法であって、

(a) 核酸分子に結合した前記リガンドと特異的に結合することができるレセプターを含んだ試薬複合体を形成することができる試薬に試料を接触させる工程と、

(b) 等温増幅技術を用いて核酸領域を増幅し、リアルタイムに増幅反応の生成物を同時に検出することにより、核酸分子の存在を特異的に検出することによって、前記試薬複合体のレセプター部分が試料中に存在するリガンドと結合して形成される複合体を検出する工程と、

を含む前記方法。

【請求項 2】

核酸配列に基づく増幅反応 (NASBA) を用いた核酸領域の増幅を前記工程 (b) が含む請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

核酸分子に結合している、前記リガンドに結合することができるレセプターに、試料を接触させることを前記工程 (a) が含む請求項 1 又は 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記工程 (a) が、連続的な又は同時の以下の工程：

(i) 生物学的結合対の第一の構成要素とコンジュゲートしている、前記リガンドに結合することができるレセプターに、試料を接触させる工程；

(ii) 生物学的結合対の第二の構成要素とコンジュゲートしている核酸分子に、試料を接触させる工程；

を含む請求項 1 又は 2 に記載の方法。

【請求項 5】

前記工程 (a) が、連続的な又は同時の以下の工程：

- (i) 前記リガンドに結合することができるレセプターに試料を接触させる工程；
 - (i i) 核酸分子に結合している、(i) のレセプターに結合することができる二次レセプターに、試料を接触させる工程；
- を含む請求項 1 又は 2 に記載の方法。

【請求項 6】

前記工程 (a) が、連続的な又は同時の以下の工程：

- (i) 前記リガンドに結合することができるレセプターに試料を接触させる工程；
 - (i i) 生物学的結合対の第一の構成要素にコンジュゲートしている、(i) のレセプターに結合することができる二次レセプターに、試料を接触させる工程；
 - (i i i) 生物学的結合対の第二の構成要素とコンジュゲートしている一本鎖核酸分子に試料を接触させる工程；
- を含む請求項 1 又は 2 に記載の方法。

【請求項 7】

前記工程 (a) が、連続的な又は同時の以下の工程：

- (i) 前記リガンドに結合することができるレセプターに試料を接触させる工程；
 - (i i) 生物学的結合対の第一の構成要素にコンジュゲートしている、(i) のレセプターに結合することができる二次レセプターに、試料を接触させる工程；
 - (i i i) 生物学的結合対の第一の構成要素と一端でコンジュゲートし、生物学的結合対の第二の構成要素ともう一端でコンジュゲートした、核酸分子に試料を接触させる工程；
 - (i v) 生物学的結合対の第二の構成要素のみとコンジュゲートした核酸分子と試料を接触させる工程；
- を含む請求項 1 又は 2 に記載の方法。

【請求項 8】

生物学的結合対の第一及び第二の構成要素がストレプトアビジン又はアビジン及びビオチンである、又はその逆である、請求項 4、6 及び 7 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 9】

前記二次レセプターが前記核酸分子と直接的な化学結合により結合している請求項 5 に記載の方法。

【請求項 10】

リガンドに結合することができるレセプターと、核酸分子と、キャリア高分子と、を含んだコンジュゲートであって、核酸分子はキャリア高分子を介してレセプターに結合しているコンジュゲートである試薬複合体の添加を前記工程 (a) が含む請求項 1 又は 2 に記載の方法。

【請求項 11】

キャリア高分子がデキストランである請求項 10 に記載の方法。

【請求項 12】

前記リガンドに結合することができるレセプターが抗体又は抗体断片である請求項 1 - 11 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 13】

核酸が部分的に又は全部一本鎖である請求項 1 - 12 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 14】

核酸が一本鎖 DNA 又は RNA である請求項 13 に記載の方法。